

6. 6. 1  
2532

組合歌 (作歌 柘沢兼人氏)

(一) 黎明海に揮きて  
都市の生命にやむ日より  
群星山に輝きて  
都市の睡眠に惹ふまで  
産業線の前頭には  
ゆく市電従業員

(二) この地いくと何民族の  
解放の旗揚げた  
かの先駆者の弾圧に  
抗して進みし足跡を  
身に覚えとせし確々しくも  
進む市電従業員

(三) 反動弾圧暴徒の  
暴徒は如何に虎ととも  
法意は固し血盟の  
團結の武器とり持ちて

光栄ある使命を果さんと  
土の市電従業員

(四) あゝ、猿鹿の谷あり  
もし時列らば一音に  
崖絶つ護るし持ち  
各の市電従業員

(五) 弱き五分の導つに  
全階級の闘争に  
扶助の光と闘争に  
生く市電従業員

責任者 西田 武

第 2532 号

昭和六年三月廿六日

協調會大阪支所長

参事

草間

時

光

常務理事 添出 敬一郎 殿

神戸市電従業員組合争議部長解雇ニ絡マル紛擾ノ件